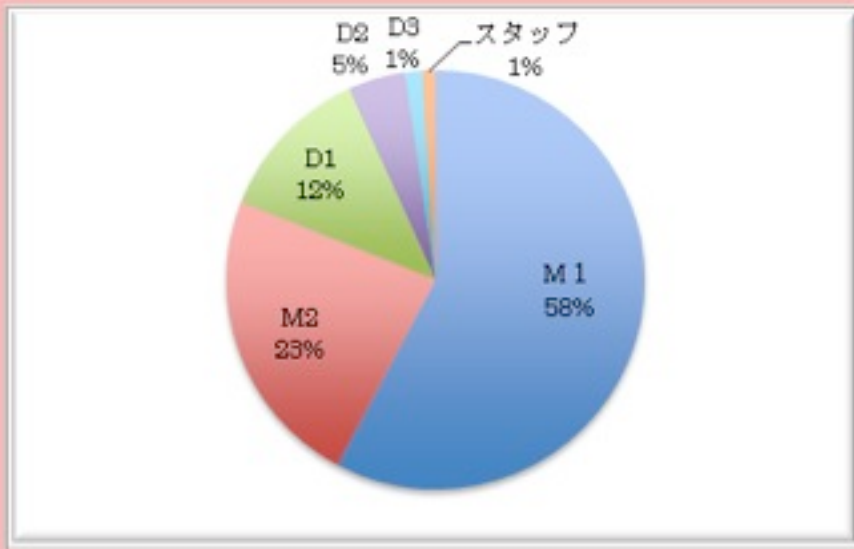


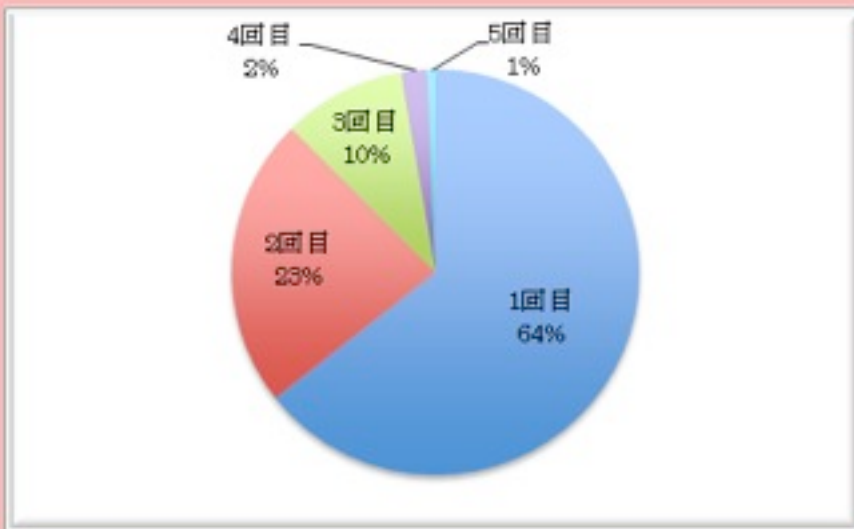
第41回 天文天体物理若手夏の学校 アンケート結果

1. 夏の学校全般について

Q1.1 あなたの学年は？



Q1.2 夏の学校への参加は何回目ですか？



Q1.3 夏の学校に参加した理由（複数回答可）



<その他>

- ・座長
- ・引継ぎ
- ・研究室の伝統
- ・刺激を得るため
- ・研究室の方針

Q1.4 夏の学校の情報はどこではじめて知りましたか？



<その他>

- ・研究室の先生
- ・若手の会総会

・先生

多くの参加者の方が、同じ所属機関の人から夏の学校の情報を教えてもらっているようです。夏の学校が天文・天体物理の若手に根付いているようで何よりです。一方で、ほとんどの方はM1の時の一回限りの参加で、M2以降にも参加する方は少ないのが現状です。研究会としての質を上げるためにも、そして学年を超えて交流を深めるためにもぜひM2以降も参加して夏の学校を盛り上げてください。

Q1.5 夏の学校事務局からの事前の案内や対応は適切でしたか？



<理由>

非常に満足

- ・メールのレスポンスが早い

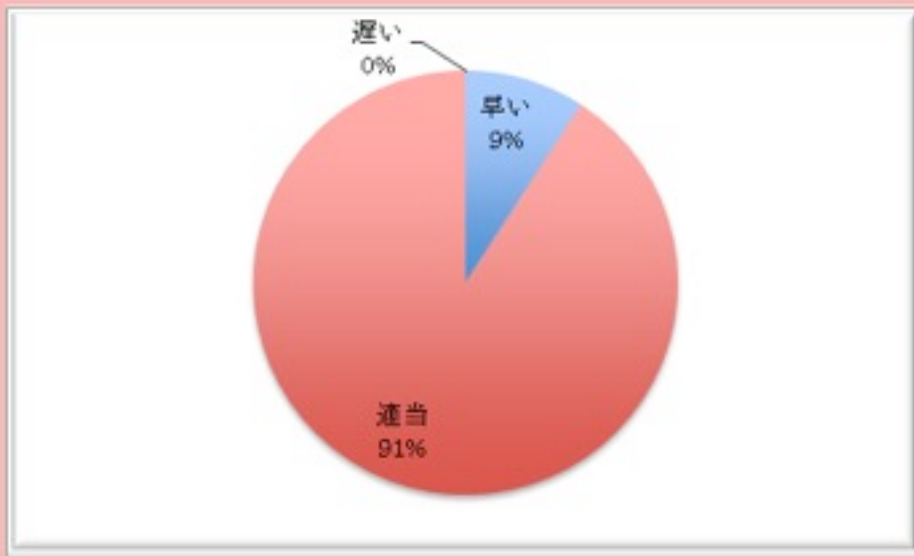
満足

- ・十分だと思う
- ・色々な大学の人と交流ができた
- ・対応がはやかった

やや不満

- ・タイトルやアブストの登録期間が短い
- ・旅費補助申請および誓約書のテンプレートのメールが遅かった
- ・分科会の分け方が良くない
- ・案内がわかりにくい
- ・旅費補助のメールが多かった
- ・初日バスがなかった
- ・全体的に緩慢だった
- ・連絡が適切ではなかった

Q1.6 開催時期（8月1日-4日）は適切でしたか？



<理由>

早い

- ・オープンキャンパスとほぼ被る
- ・テスト期間中
- ・大学の課題がある

適当

- ・テスト期間とかぶってない
- ・前期終了後なので時間に余裕がある

Q1.7 開催日数（3泊4日）は適切でしたか？



<理由>

長い

- ・4日まで体力が持たない、一泊二日がいい

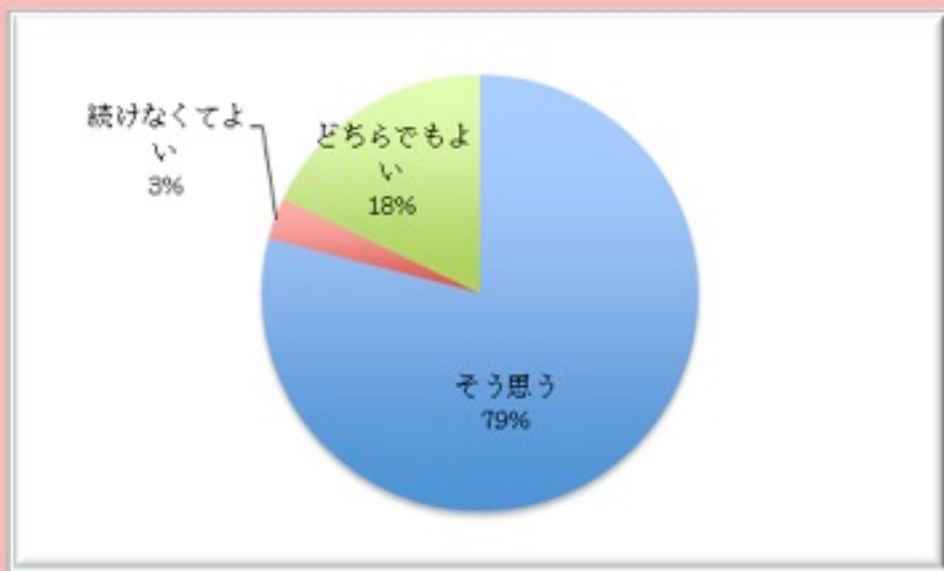
適当

- ・ゆっくり議論できる
- ・参加人数を考えると適切

短い

- ・スケジュールが圧迫されている

Q1.8 合宿形式は今後も続けたほうが良いと思いますか？



<理由>

そう思う

- ・交流しやすい
- ・濃密で有意義な時間を過ごせる
- ・一同に介してお互いの研究を知るため
- ・異分野の人とつながりができる
- ・じっくり話せる
- ・会場と宿泊施設が近いので移動が楽

続けなくてよい

- ・疲れる

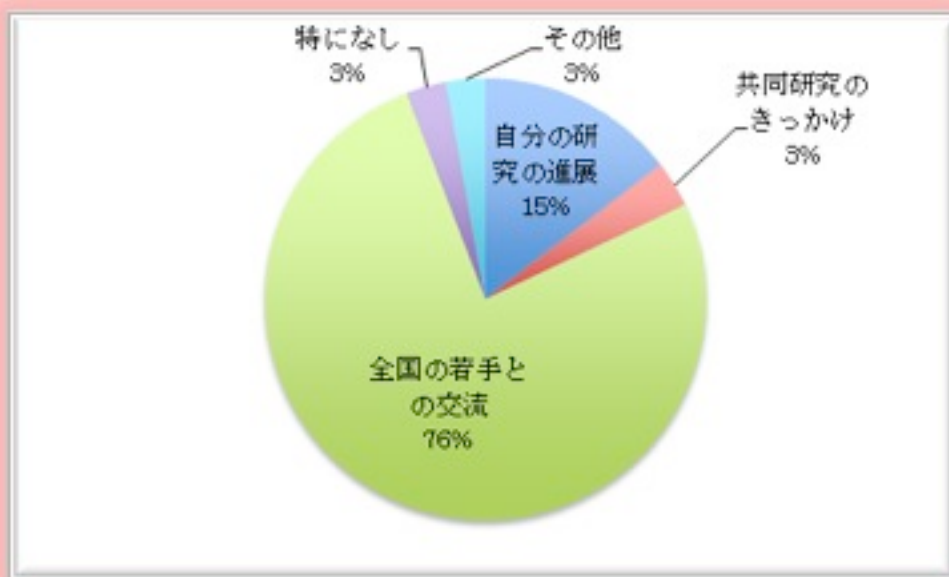
- ・寝れない
- ・相部屋では部屋の鍵の管理が難しくデメリットが多い
- ・宿泊する場所を自由にして欲しい
- ・合宿形式でもよいが地元の人に通えるようにして欲しい
- ・金銭負担が大きい

どちらでもよい

- ・合宿か日帰りか選択したい
- ・LOCの負担が増えるなら合宿にする必要はない

開催時期については、概ね適当のようです。日程と合宿形式の是非は例年議論になるところです。現状では、スケジュールが詰め込まれてしまっていますが、なるべく多くの参加者の方に発表の機会を設けるためには致し方ないです。並行して行う分科会を増やす方法も考えられますが、会場設備などの問題もありそれも難しいです。日程を延長するという方法もありますが、参加者の参加費の個人負担も大きくなるため、難しいのが現実です。ちなみに、過去には4泊5日での開催でしたが、3泊4日に変更した経緯があります。

Q1.9 今回の夏の学校への参加は、あなたにどのような意義がありましたか？（複数回答可）



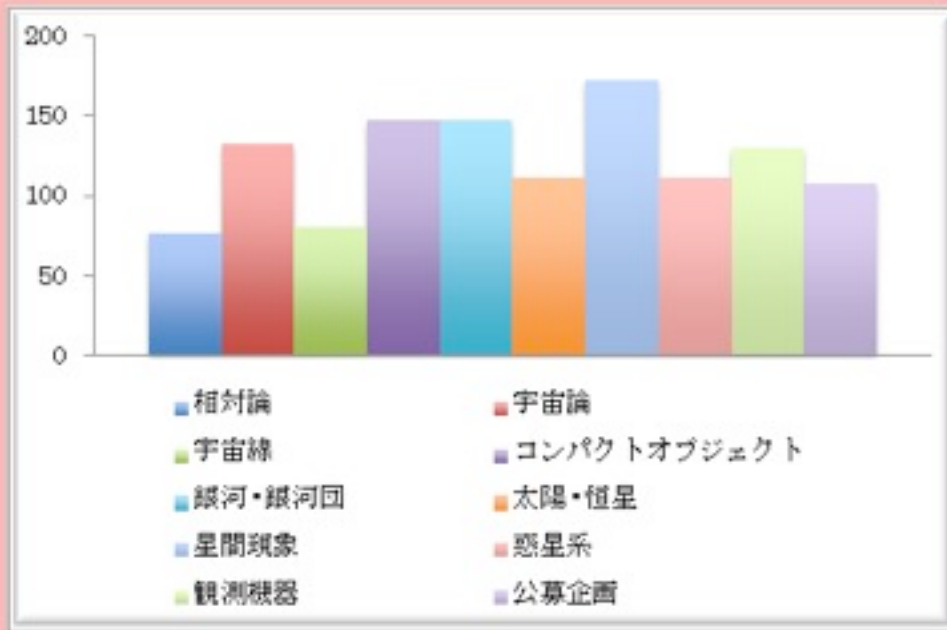
<その他>

- ・やる気の向上
- ・人前で発表することに慣れる
- ・新たな知識を得た
- ・運営経験をつめた

- ・他分野との交流
- ・新しい分野開拓
- ・自分の研究内容の宣伝

2. 全体企画・分科会について

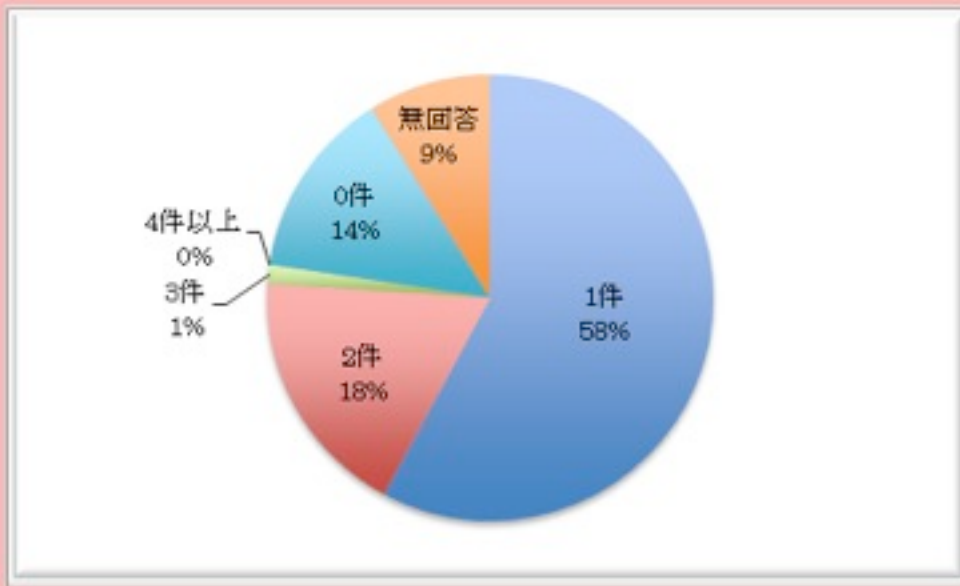
Q2.1 参加した分科会をすべて選んでください。



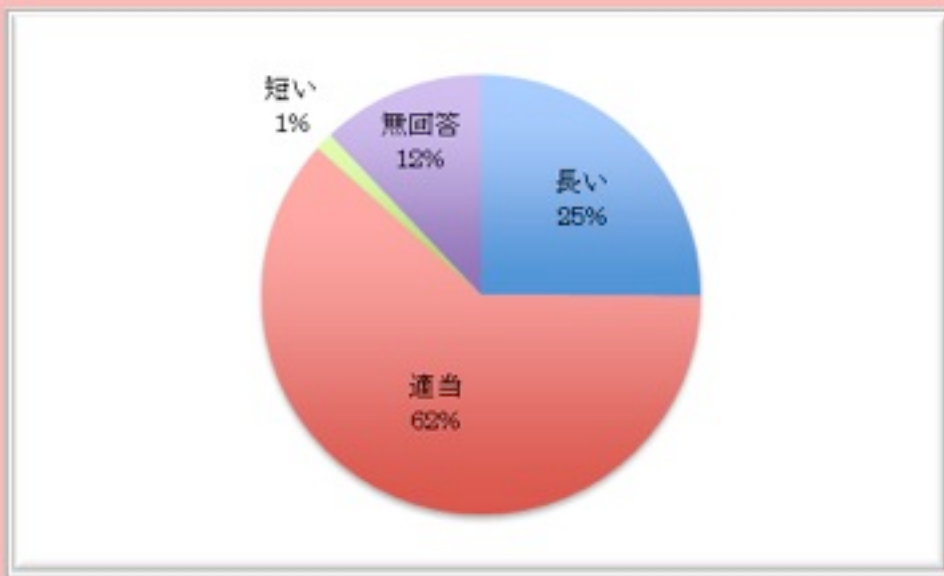
Q2.2 並行して行なって欲しくない分科会は？（複数回答あり）

- 相対論・宇宙線 30人
- 星間現象・惑星系 23人
- 銀河銀河団・星間現象 16人
- 宇宙論・銀河銀河団 15人
- コンパクトオブジェクト・太陽恒星 13人
- 宇宙線・観測機器 12人
- 星間現象・観測機器 10人
- 相対論・コンパクトオブジェクト 10人
- コンパクトオブジェクト・星間現象 10人
- コンパクトオブジェクト・銀河銀河団 8人
- 銀河銀河団・太陽恒星 6人
- 銀河銀河団・観測機器 5人
- その他組み合わせ 4人以下

Q2.3 公募企画は何件あると良いですか？



Q2.4 公募企画の時間（1.5時間）は適当でしたか？



<理由>

長い

- ・聞いただけだと退屈なので参加型が良い
- ・一時間程度が良い
- ・参加型でないので退屈

適切

- ・各々の団体の紹介がきちんとされていた
- ・内容とのバランスが良かった
- ・集中力が持つ時間

Q2.5 公募企画を来年も行うことについて、どう思いますか？



<理由>

賛成

- ・天文人間の自主性に期待して
- ・普段との研究とは違う視点を持てて楽しい
- ・学生の自主性の発現としてやるべき
- ・専門のみでなく、その周辺の情報の交流になる
- ・視野を深めるいい機会
- ・夏の学校らしい特色なので

反対

- ・一般講演の時間に充てるべき

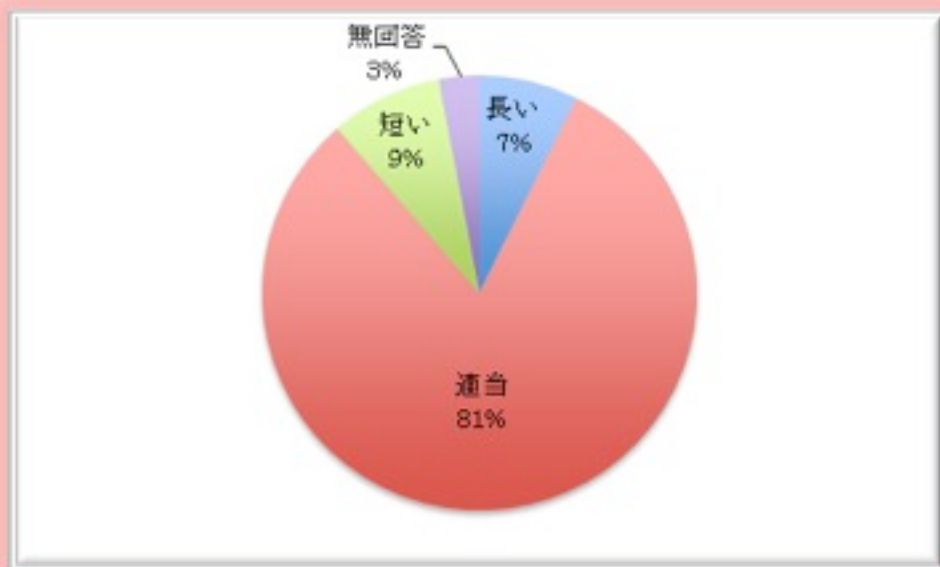
どちらでもよい

- ・スケジュールが過密なので無理に続ける必要はない

今年から公募企画を完全に公募制に変更しました。その結果今年も、アウトリーチをテーマに一件の公募企画を行いました。約半数の方が公募企画が一件に賛成してくださっていますが、二割近くの方が二件必要とのことでした。

今年も、様々な分野でアウトリーチを行なっている団体の方に参加していただき一般参加者を交えたパネルディスカッション形式で行いました。「『天文学が何の役に立つの?』という疑問にどう答えますか?」、「似非科学を信じている人にどうアウトリーチしますか?」などの質問も飛び出し、白熱した議論がおこなわれました。参加していただいた団体の方々、座長の皆様ありがとうございました。

Q2.6 分科会の招待講演の時間(質疑応答込み60分)は適当だと思いますか？



概ね、現在の講演時間で適当とのことでした。

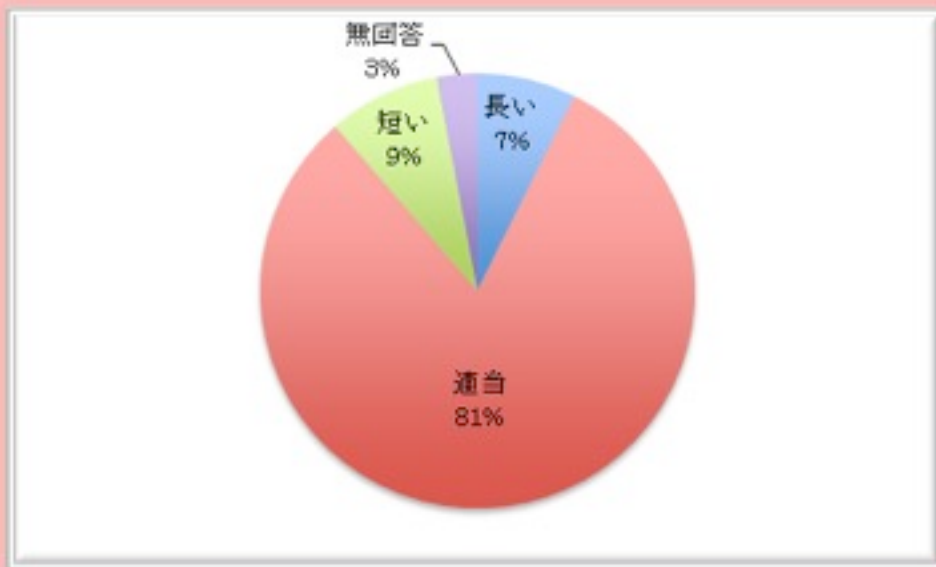
今年も、各分科会で2-3名の方に招待講演して頂きました。現在走ってるビッグプロジェクトのお話、研究分野での現状での問題意識といったお話から、研究者としての生き方まで幅広いテーマで講演して頂きました。学会ではなかなか聞けないようなお話もあり、研究という世界を新しい視点で見ることができました。招待講師の皆様ありがとうございました。

Q2.7 分科会の招待講師に関して要望はありますか？

- ・超弦理論
- ・重力波
- ・宇宙工学
- ・近傍銀河の化学動力学関連の方
- ・すべての講師の方に、自分の研究分野に過去・現在・未来というコンセプトでやってほしい

この他にも、招待講師として来ていただきたい方のお名前もでていました。まとめて、来年度以降の事務局へ引き継いでおきます。

Q2.8 a講演の口頭発表時間（12+3分）は適切でしたか？



Q2.9 b講演の3分口頭発表では数講演ごとに若干の質問時間を設けましたが、必要だと思いますか？



<理由>

必要

- ・質問は必須、質問をした後だと議論をしやすい
- ・質問に的確に答えるすべを学べる

不要

- ・ポスターの前で活発な議論をすればよし
- ・なくして全体の時間短縮をすべし

a講演の口頭発表は多くの皆さんが適当とのこと。b講演の質問が不要という意見には、3分講演自体が短すぎるため質問し辛いという意見もありました。一方で、3分講演でも、たくさん質問がでているセッションもあったので、議論のきっかけとして役立っている側面もあります。

Q2.10 今年は、9つの分科会を行いました。研究分野の分け方は適切でしたか？



<理由>

適切

- ・ やや内容にばらつきがあるが、現状のわけかたで問題ない
- ・ 宇宙論と相対論がわかれていてよかった
- ・ アルゴリズム演算性能などに特化した感じ、もちろんサイエンスも含めてOKで。
- ・ 研究分野によって観測色の強いところがあったり、なかったりがあったが、ジャンル別では分らない。
- ・ 相対論と宇宙論をくっつけて欲しくないです!!!
- ・ やや内容にばらつきがあるので、完璧ではないが大体よいのでは。
- ・ 丁寧で分かりやすい。
- ・ AP系はあまり詳しくないので何とも言えないが、各分科会、充実していたように感じる。
- ・ 宇宙論と相対論は分けておくべき。とりあえず現状維持。
- ・ 他の分科会はどうか分かりませんが、自分が出た会は適切だったのでは。
- ・ どのような講義があるかわかりやすかった。
- ・ どんな分け方にせよ、何かしらの問題はあと思うが、事務局、分科会側でしっかりできていたと思う。

- ・分け方自体が難しいので、多少の人数の隔たりは仕方ない。
- ・できれば天文学会に準ずる形式が良いと思う。

適切でない

・自分と同じ様な研究を行っている人が違う分科会で発表していたので、聞く事ができなかった。

- ・AGN,太陽フレア,SNRなどはどの分科会に申し込むべきかはっきり分からないから。
- ・星形成とわくせいは分けないでほしい。
- ・分野の分け方はよく意味が分からなかったが,a講演の分け方がよくない。
- ・分け方はよいが,募集時に,もっと区分けを明らかにしておくべき。

数理物理学をやっている人が入るべき分科会がない。あと、もっと早く再編の連絡をすべき。

- ・星形成を希望。
- ・分野間の交流が十分でない。
- ・分科会の選択例をもう少し細かく選択したほうが良い。(分科会の数に不満はないが、分かれ方がaboutな印象を受けた)
- ・太陽と恒星は分かり合えない。
- ・赤外とX、 γ は違う分野だと思う。
- ・星間現象が意味不明。
- ・激変星と降着円盤系とコンパクト。
- ・バランスが悪い宇宙線に機器があるのはわかりづらい。
- ・星間現象が広すぎるなと思いました。
- ・観測の分科会が欲しい星間現象がごちゃごちゃ、分野がからまりすぎだと思う。
- ・現象を説明する気のない発表者は不要です。
- ・物理をやっている人だけでいいです(相対論一般、一部の観測機器)。
- ・どの研究分野にも属さない研究があったから「その他」みたいな分科会は必要だと思う。
- ・ハードウェア、ソフトウェアでも可。
- ・激変星の観測は恒星と太陽ではなくコンパクト天体のセッションに含めて欲しいと思った。
- ・同じ降着系であるブラックホール連星や中性子連星と一緒に分科会のほうが議論しやすい。
- ・重力波がなかった。
- ・もう少し数を減らした方がいい。
- ・相対論と宇宙論の境があいまい。
- ・純粋な相対論の講演が少ないので合わせてもよいのではないか。

- ・1つの分野を取り扱う分科会が複数あるから。
- ・宇宙観測のテクニカルな点は全て観測機器の分科会で話すべきだと思う。また観測機器分科会は飛翔体観測、地上観測などの小さな分科会にさらに分けるべきだと思う。
- ・分科会の数は、6つか7つにしたほうがよい。
- ・これは難しいので...なんとも。
- ・歴史的には結構変わっているので毎年もっと柔軟に変えてもいいのかもしれない。
- ・やや相対論が少ない。
- ・適切ではないし、さらに、変更するにしても事前に座長団に説明が必要、数を減らしてまとめたほうが良い、分科会の区分けがよく分からない、観測機器は地上と飛翔体で分けるべき

Q2.11 公募企画や特定の分科会にご意見があればお書きください。また、新たに設けて欲しい分科会がありましたらお書きください。

設けて欲しい

- ・シミュレーション
- ・量子重力
- ・BH分科会
- ・重力波

意見

- ・理論と観測に分けて欲しい
- ・英語のセッションがあると良い

座長団の引継ぎでは、分科会再編に関して座長団の方々に事前に説明が行き届いていませんでした。大変ご迷惑をおかけしました。主な原因は、ss11とss12の連絡が不十分であったことです。今後この様なことがないように、年度をまたいで事務局間の連携をこれまで以上に徹底していきます。

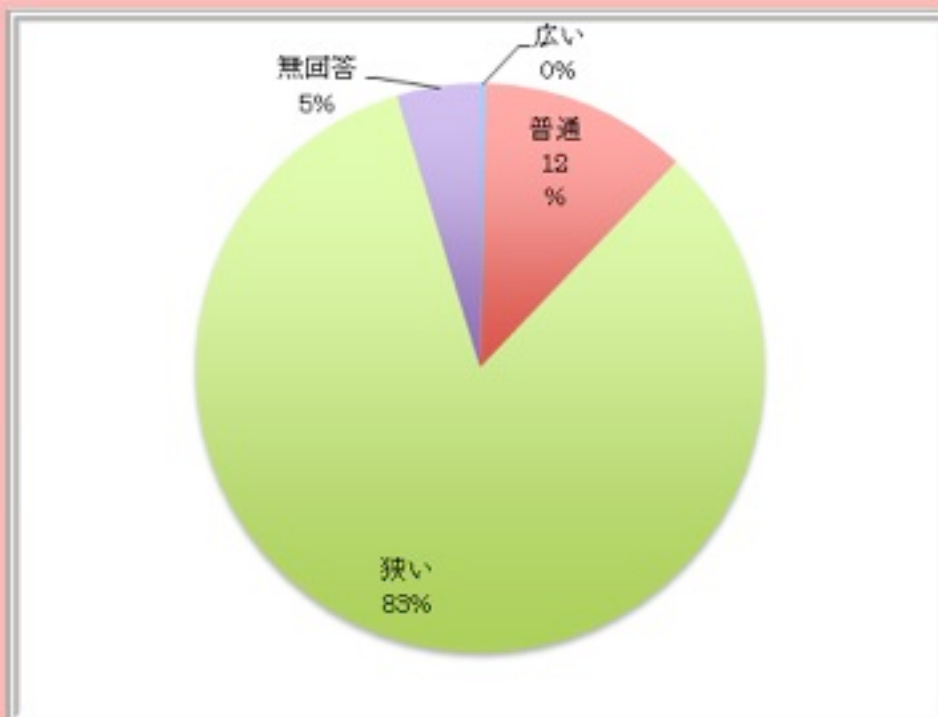
分科会の分け方・数については様々な意見があり、4、5年に一回程度大幅な変更をして模索しています。来年度は、大幅に分科会編成の変更があります。現状でている意見のいくつかは、この変更により解消されるかと思えます。

3. ポスターセッションについて

Q3.1 ポスターセッションの時間は適切でしたか？



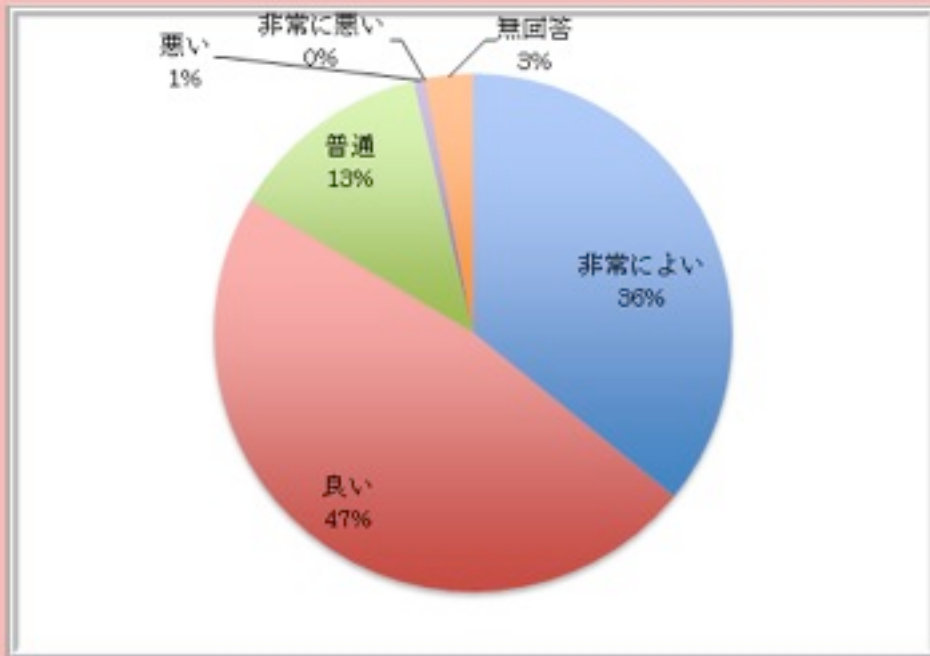
Q3.2 ポスター会場の広さはどうでしたか？



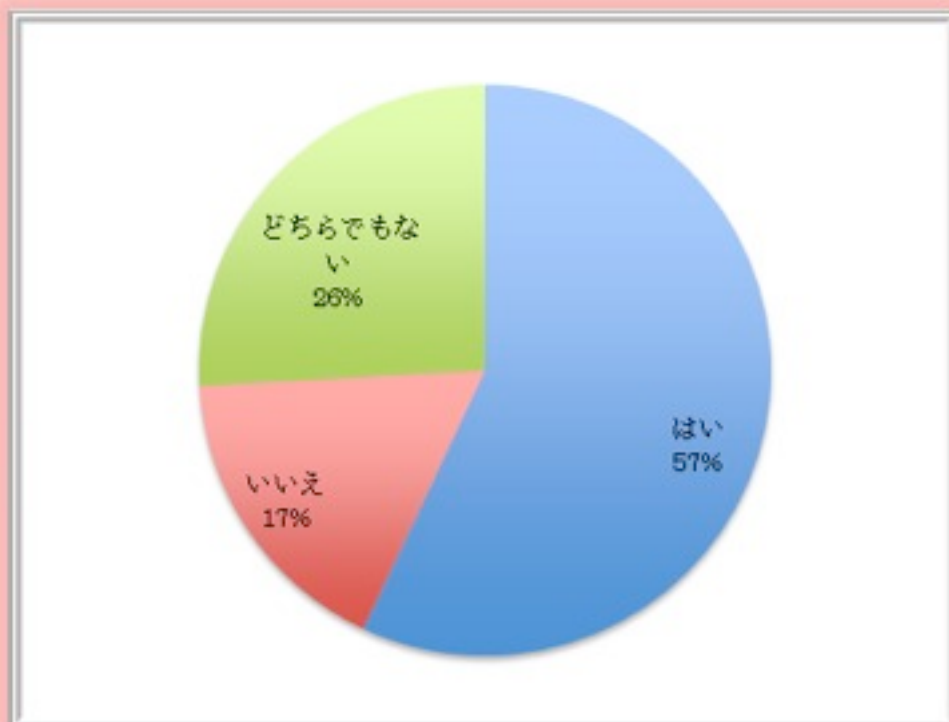
ポスター会場が狭いとの意見が多かったです。今年の会場では、適当な部屋がなかったため、かなりポスター部屋が窮屈になってしまいました。ご迷惑おかけしてしまい申し訳ありませんでした。

4. 講演予稿集について

Q4.1 講演予稿集の体裁・内容はどうでしたか？



Q4.2 講演予稿集は会場で配布したほうがよいと思いますか？



Q4.3 講演予稿集について、ご意見ご要望などありましたらお書きください。

- ・背表紙の時間割が便利であったが、分単位で分かる嬉しい
- ・テレビ欄の様な全体のタイムテーブルが欲しい
- ・部屋割り表は講演予稿集に掲載して欲しい
- ・周辺地図が欲しい
- ・もっとはやめに配布をして欲しい
- ・webで開催前に公開しているので、予習ができてよい
- ・色分けがしてあって見やすいです

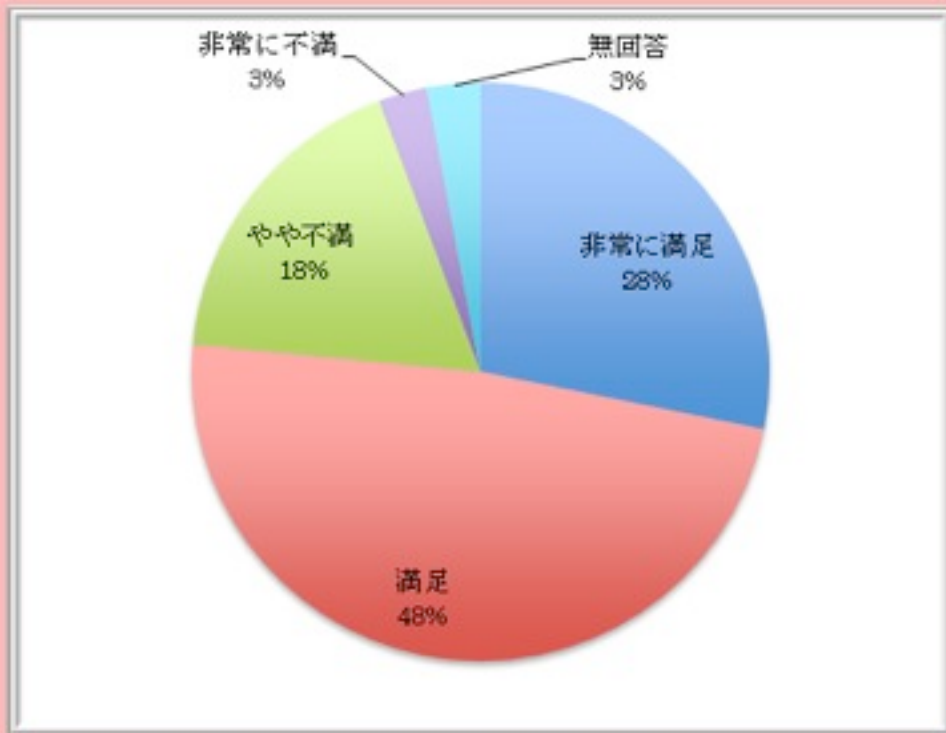
パンフレットは概ね好評のようです。予稿集は、例年開催前にwebにて公開しております。ただ、今年はweb公開の連絡が遅くなってしまいました、すみません。

5.会場について

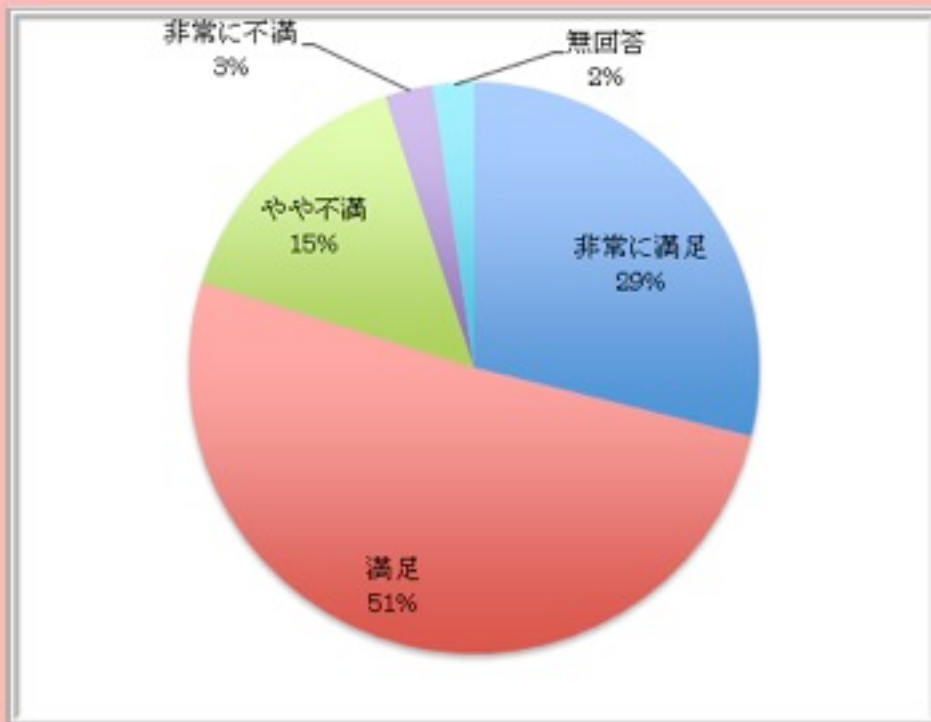
Q5.1 会場の立地・アクセスはいかがでしたか？



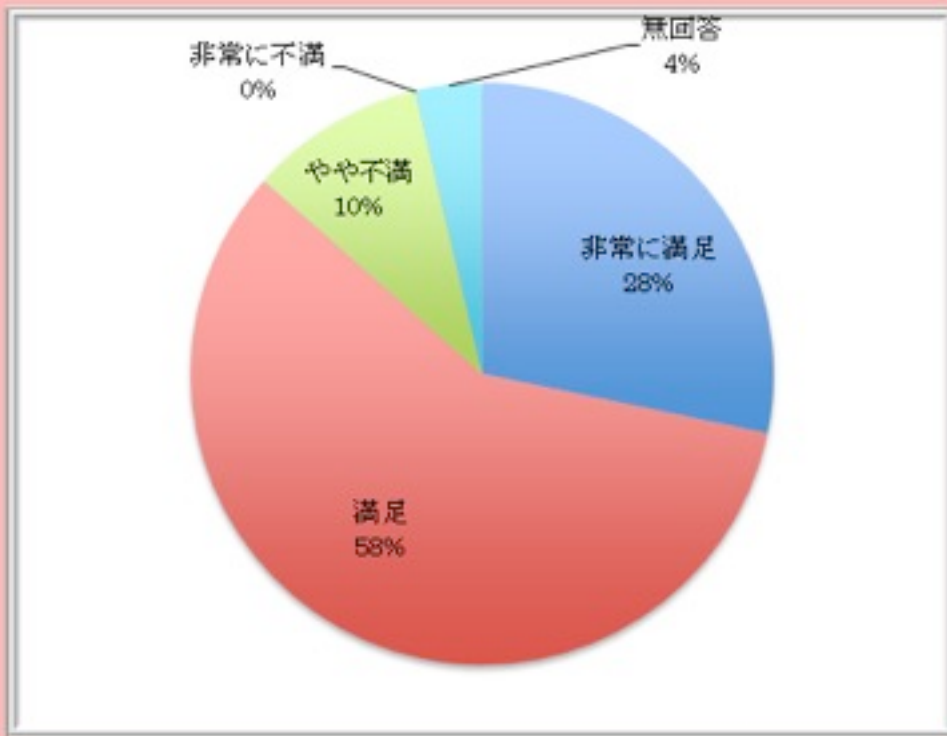
Q5.2 会場の宿泊設備はいかがでしたか？



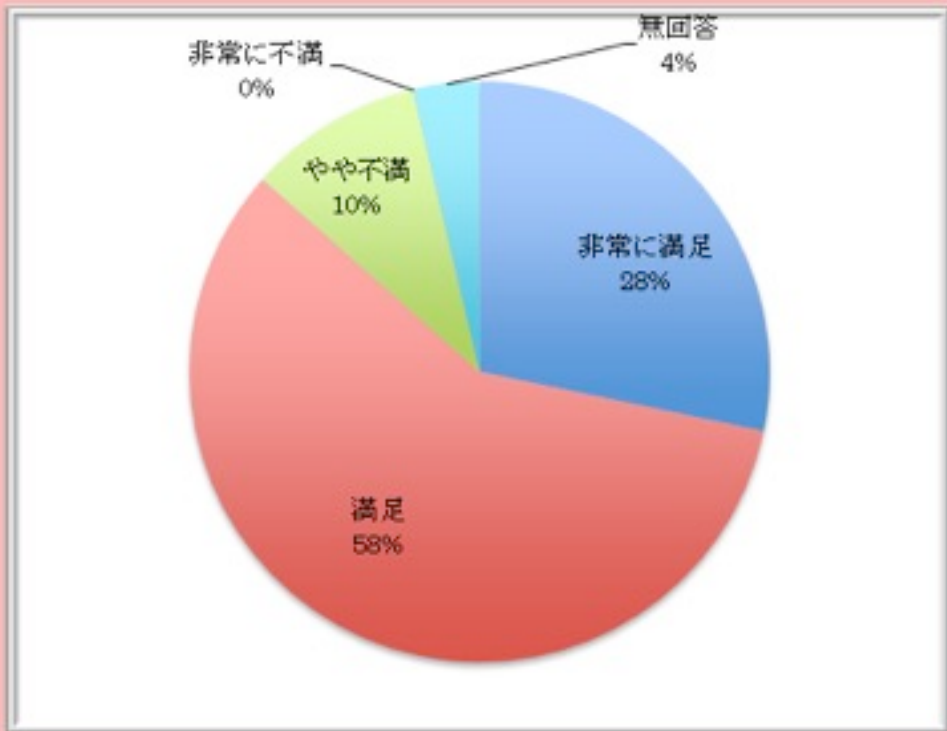
Q5.3 食事はいかがでしたか？



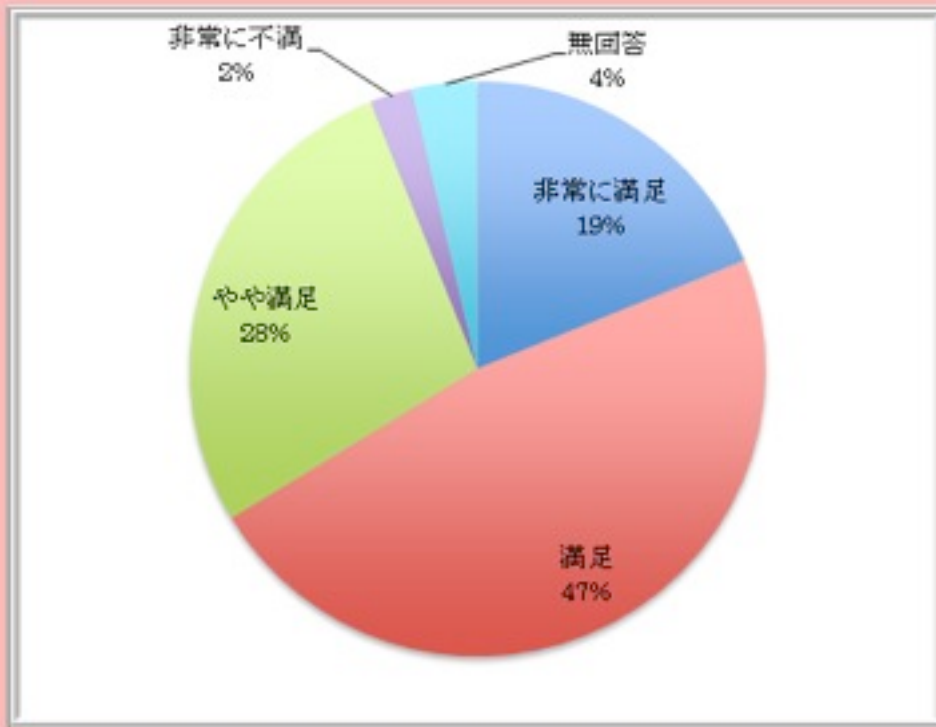
Q5.4 大会場（公募企画・総会会場）の広さはいかがでしたか？



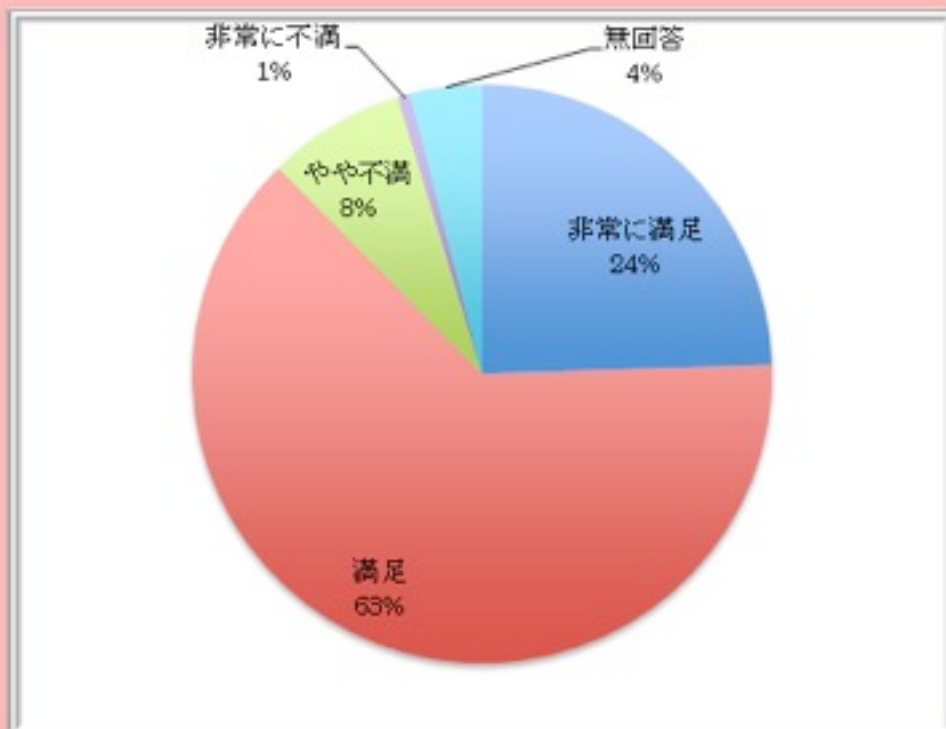
Q5.5 A会場の広さはいかがでしたか？



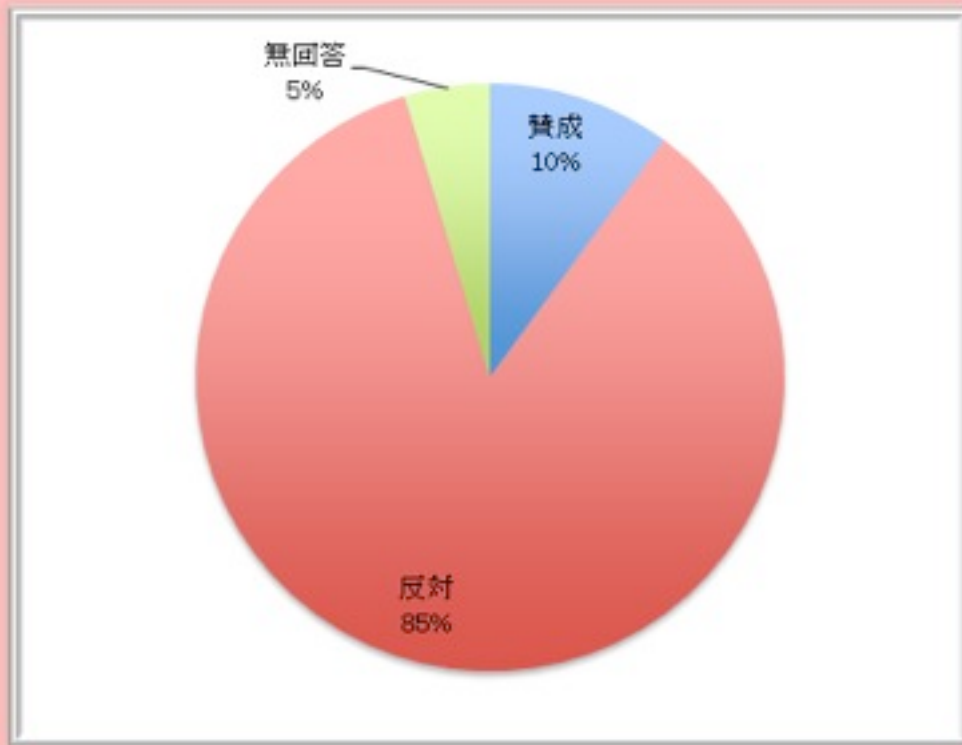
Q5.6 B会場の広さはいかがでしたか？



Q.5.7 C会場の広さはいかがでしたか？



Q.5.8 来年以降、椅子のみの会場を検討していますが、どう思いますか？

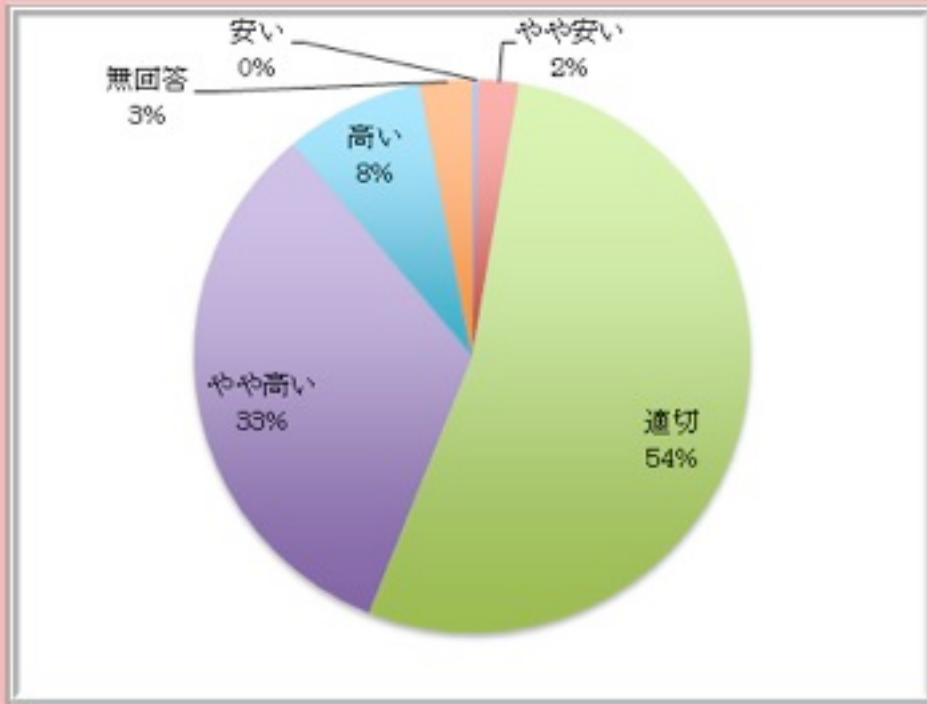


Q.5.9 会場、事務局員に関することでご意見・ご要望などありましたらお書きください。

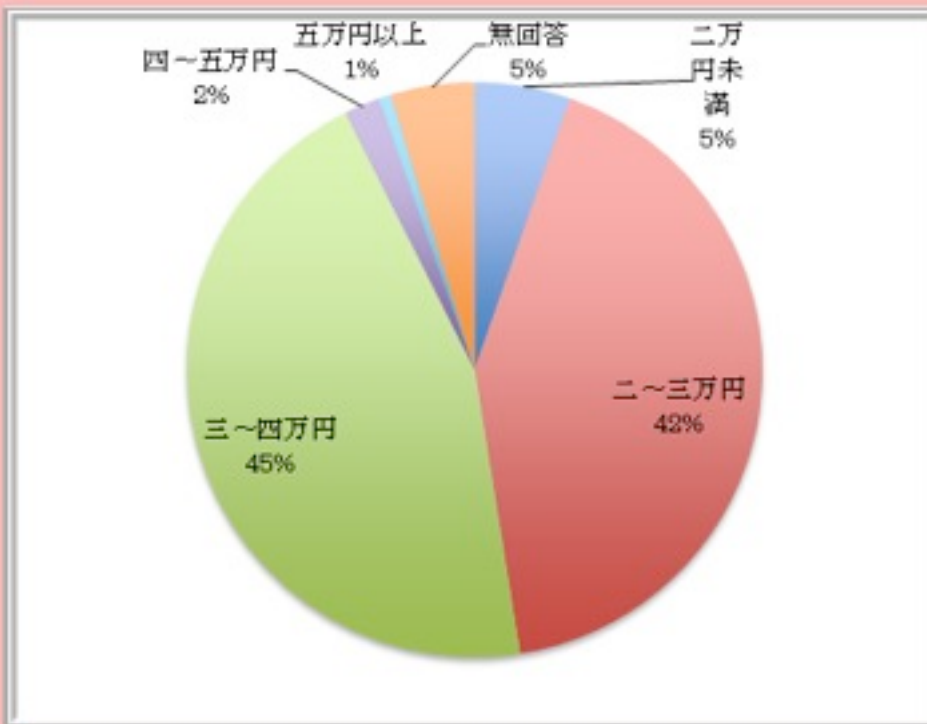
- ・各会場を隣接させて欲しい
- ・無線LAN環境が欲しい
- ・シャトルバスが時間通りにこずタクシーに乗らなければならなかった
- ・A会場とB会場との声と拍手が筒抜けです
- ・発表時に各自PCを使用するのではなく
- ・ひとつのPCにまとめたほうが良い
- ・もっとアクセスが良い場所のほうが好ましい
- ・プロジェクターの調子がいまいちでした

6. 参加費について

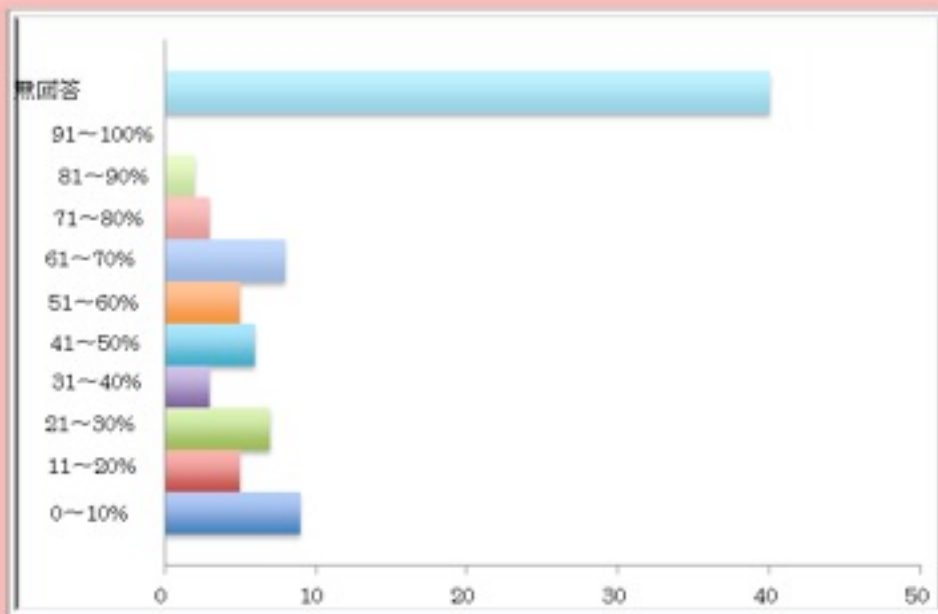
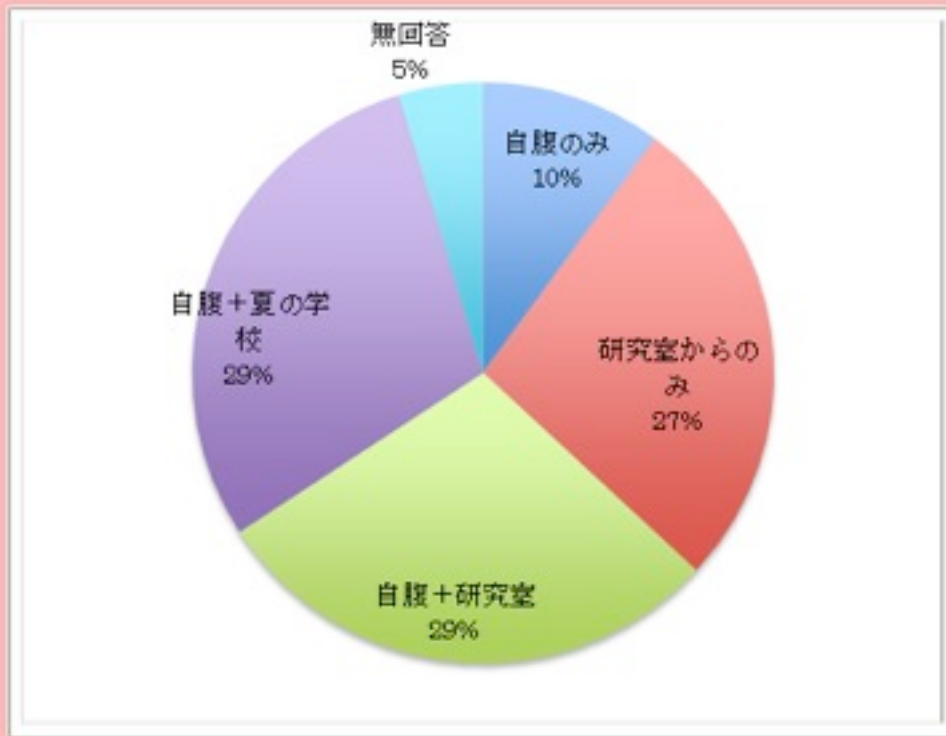
Q6.1 宿泊費、参加費は適切だと思いますか？



Q6.2 宿泊費、参加費はどのくらいまでなら許容できますか？（今年度の全日程参加費33,200円）



Q6.3 交通費、宿泊費、参加費合計のうち、財源とその割合を大まかで構わないので教えてください。



自腹の割合（横軸は人数）

会場については、会場間での音漏れの問題を多くの方からご指摘をうけました。今年の会場設備の都合上、マイク音量でしか調整ができず、極力音漏れがないように調整をしましたが、それでも不十分でした。申し訳ありませんでした。

会場については、350人が宿泊でき、交通の便が良く、並行して3つの講演会場を用意できる宿泊施設は極めて少ないです。その中でも、なるべく全国からのアクセスが良い場所を選びました。

参加費に関しては、半数近い方が高いと感じており、また、一部自腹も含めると自腹で参加しておられる方も7割近いという結果がでています。できるだけ多くの方に参加していただけるようにこれからも会場選びについては議論をしていかなければならないと考えております。

7.お気づきのことやご提案など、何でも構いませんのでお書きください。

- ・分科会に分ける意味を再整理すべき。
- ・休憩時間が短すぎ少なすぎ。
- ・分科会の区分け変更についてのお知らせはもっと早くするべき。3日目の引き継ぎ時に初めてきかされ、想定外だった。
- ・5次以上の代数方程式に解の公式がないことに気づきました。
- ・部屋(泊まった部屋、会場、食堂)のクーラーが強すぎた。
- ・夜ごはんのボリュームが大きすぎる半面、昼御飯がシンプルすぎた。足して2で割れば・ちょうどいい気はするが、せめて昼のバラエティをちょっと増やしたほうがいいのでは。
- ・4日間お疲れさまでした。皆様のおかげで快適に過ごせました。ただ・・・朝ご飯は8:30ジャストに着いても追い返されるのはどうも・・・原理主義すぎるように思いました。
- ・ホテルまでの駅からの交通手段を明確にしてほしい。今回のバス送迎には無理があると思う(参加人数に対して乗車人数が少ない)。
- ・アンケートが長い。
- ・夕食の時間がはじめ短かった。
- ・眠い!!忙しい!!夜寝たくても部屋の他人が気になりなかなか寝られず、次の日の講演を楽しめなくなってしまうのが問題点。
- ・A,B,C会場とポスター会場が離れ過ぎている。そのため、ポスターセッション以外ではほとんどポスター会場に人がいなかった。
- ・おつかれさまです。こういう温泉は夏の学校らしくてやっぱり良いですね。
- ・アンケートは総会でもらった方が回収率が上がるかもしれませんね。
- ・合宿形式には反対です。

- ・部屋で同じになった方とお話する機会が少ないと感じたので、飲み会毎晩ではなく、1,2日にして欲しいです。
- ・総会後にあった新座長を決める引き継ぎはひどかった。今までと違うことがしたいのであるなら事前連絡をすべきである。直前の提案で困惑した。
- ・名札が読みづらい。少なくとも名前だけはフォントを大きくしたほうがよい。
- ・細かく対応していただきとても良かったです。来年以降も続けてください。
- ・もっと宿泊費を抑えてください。あと相手への気遣いが足りないのではないかと思う。
- ・人数の多い大学同士が固まっていて話しかけづらかった。
- ・ポスターセッションは、ポスターの説明をする時間の棲み分けなどを行った方がポスターの説明が聞けていいと思います。運営どうもありがとうございました。
- ・天文の研究をしている学生がたくさんいることや天文にもいろいろな分野があることを知って視野が広がった気がします。
- ・4日間楽しかったです。ありがとうございました。
- ・スタッフのみなさん,おつかれさまでー!!!!!(^o^)/イケメン&美人ぞろいでした!!
- ・A会場さむかったです。
- ・夜もドリンク置いてほしかった。
- ・会場にコンセントがなく,発表前など不便。ネットワークが無いのも辛い。
- ・分科会係は1人ではキツイ。
- ・ポスター会場が狭すぎる。
- ・送迎バスが小さい。
- ・懇親会は立食にしてほしい。
- ・観測機器の発表者はテクニカルな内容の人のみにすべきで,機器を使ったサイエンスの内容の人は各分科会に割り振るべき。
- ・朝の分科会への参加人数が少ない。
- ・できればポスターセッション後のB発表はなくして、初日、二日目などで終らせるようにしてはいかがでしょうか？
- ・豪華なホテルや旅館も良いが、学生としては安いプランを希望。
- ・どうすれば質疑応答が活発になるだろうか、インターセプト有りにするとか。宇宙のトポロジーが面白かった。
- ・食事について、食べられないものや苦手なものを事前に把握して内容の変更を行うことで、昼食、夕食時にテンションが下がることを防止。
- ・宇宙工学の人にも夏の学校をアナウンスできないでしょうか?ジャスミンなど宇宙工学の学生が天文衛星に関わっていることがあるので。
- ・良くも悪くも、(特に去年と比べて)研究会の体裁からは遠くなっていると思いました。
- ・去年の夏の学校は仕事ばかりだったので久しぶりに夏の学校らしい夏の学校を満喫しました。どうもありがとうございました。会計処理、集録、引き継ぎは早めにやってしまう

ことをおすすめします。だらだらやるとなかなか終わらないので...(←前年度の経験から)記憶が落ちる前に色々済ませてしまうのが楽だと思います。

- ・懇親会も普段の夕食と同じ形式ではなく、バイキング形式にしたほうが移動もしやすく、良いと思います。
- ・あと同じ大学同士で固まらない部屋割りは良かったです。

頂いたコメントはまとめて、来年度以降の事務局に引き継いでおきます。